

2026年度中央社保協第3回代表委員会 議題

2026年9月30日（水）18時～20時 日本医療労働会館会議室A・オンライン

【出席確認】

○代表委員 竹田（保団連）竹下（全労連）渡辺（医労連）民医連（ ）
中村（東京）安達（大阪）

○事務局 林・名嘉（事務局）上所（保団連）山本（民医連）五十嵐（全労連）

事務局の役割

ブロック担当 東日本ブロック（林事務局長）、西日本ブロック（名嘉事務局次長）

部会担当 介護部会（名嘉事務局次長）、国保部会（林事務局長）

(1). 前回の代表委員会(8/26)以降の取り組み・情勢など

8/27（木）中央社保学校 ZOOM テスト

8/28（金）社保誌念校戻し／いのちまもる総行動実行委員会

8/29（土）守ろう介護保険・市民の会シンポジウム

8/31（月）社保学校現地 WEB 確認（小田島）／税研修会実行委員会

9/01（火）ケア社会をつくる会 WEB 打合せ

9/02（水）第2回介護障害者部会/第2回運営委員会

9/03（木）中央社保学校実行委員会 10時

9/04（金）第53回中央社保学校 from 盛岡 現地確認

9/05（土）第53回中央社保学校 from 盛岡 1日目

9/06（日）第53回中央社保学校 from 盛岡 2日目

9/07（月）第53回中央社保学校 from 盛岡 3日目 フィールドワーク

9/09（水）全労連社保闘争会議

9/10（木）介護集会事務局会議 10時30分～／全港湾80周年レセプション

9/11（金）東海ブロック会議 14時～（愛知）

9/13（日）沖縄知事選挙投票日

9/14（月）国保部会／すがも宣伝／ケア社会をつくる会院内集会

9/15（火）北信越ブロック 14時（福井）

9/16（水）近畿ブロック 15時（大阪）

9/17（木）九沖ブロック 14時（博多）

9/18（金）香川医療生協理事会学習会 WEB 講師

9/24（木）東北ブロック 13時30分（盛岡）

9/25（金）25 条宣伝（新宿南口）／医労連 OB 会総会学習会講師／社保誌編集会議
9/28（月）関東甲ブロック 13 時 30 分（東京・大塚）
9/29（火）中国ブロック 14 時（岡山）

(3). 7 月の全国総会以降、取り組む国会請願署名

1. 国の責任で社会保障制度の充実を求める請願署名（25 条署名）
2. 介護保険制度・介護報酬の抜本改善、大幅な処遇改善を求める請願署名（介護署名）
3. 憲法 9 条改悪に反対する請願署名（9 条署名）
4. 誰もが安心できる年金制度への改善を求める請願署名（年金者組合）
5. 生活保護基準の大幅な引き上げを求める省庁署名（全生連）12/3 提出

■25 条署名の進め方

- ・ 来年通常国会で提出。第 1 次提出 2027 年 2 月 12 日（金）、全国代表者会議（2/11）の翌日、第 2 次提出（最終）は 5 月、全労連・民医連・社保協の 3 者で集会を開催し提出する
- ・ 第 1 次集約は 11 月末、第 2 次集約は 1 月末、第 3 次集約は 4 月末とする。
- ・ 署名の意義を深める WEB 決起学習会を、この秋、開催する。
- ・ 請願項目にある大企業や富裕層に公正な負担を求め政府要請を行う（財務省か内閣府へ）
- ・ 50 万部作製し配分済（民医連 20 万、全労連 20 万、社保協 10 万）
- ・ 5 万部を増刷（8/19）配分済（保団連 3 万、民医連 1 万、社保協 1 万）
- ・ 埼玉土建が 7 万枚購入希望、増刷が必要

■介護署名の進め方

- ・ 7/28 にキックオフ集会、臨時国会（11/17）に第 1 次提出する。第 2 次提出は 2 月、第 3 次（最終）を 5 月に行う。
- ・ 介護署名提出集会は、臨時国会と通常国会それぞれ厚労省要請をセットする。
- ・ 第 1 次集約は 10 月末、第 2 次集約は 1 月末、第 3 次集約は 4 月末とする。
- ・ 65 万部作製し配分済（全労連 22 万、民医連 35 万、保団連 5 万、社保協 3 万）

■9 条署名の進め方

- ・ 臨時国会に提出予定、第 1 次集約 10 月末、第 2 次集約 2 月末、第 3 次集約 4 月末とする
- ・ 署名宣伝グッズ（横断幕・のぼり）を広げ、各地の取り組みを広げる

■年金署名（年金者組合）

- ・ 通常国会で提出予定（3 月と 5 月の 2 回）
- ・ 第 1 次集約は 2 月末、第 3 次集約は 4 月末とし、各組織で取り組みを呼びかける

■生活保護署名（全生連）

- ・全生連は 12/3 に中央行動、生活保護基準の改定率が決まる前に提出予定
- ・第 1 次集約を 10 月末とし、各組織で取り組みを呼びかける

(4). 第 53 回中央社保学校 from 盛岡の総括

- ・参加は現地と WEB 含めて 360 人以上の参加（岩手の現地参加 78 名）
- ・会計は助成金申請、未収分回収を含めて対応中
- ・全体像はニュース、赤旗記事を（別紙）参照
- ・現地実行委員会ニュース「おでんせ通信」12 号まで発行

主な感想（ブロック会議等）

- ・記念講演、シンポジウム、入門講座、分科会ともに「人権」が貫かれたと好評
- ・フィールドワーク 2 コース（沢内村・陸前高田）雨天も、ともに好評

運営面

- ・WEB 参加者 オープニングの太鼓が聞こえない、第 1 分科会が聞き取りにくい
- ・震災シンポジウム、まとめが長く終了時間より 20 分超えた
- ・入門講座、現地参加者より配布資料・パワポ、講師の動きで集中できなかった意見
- ・誘導係 特にトラブルなし
- ・受付係 自家用車の参加者で、駐車場に入れず遅れる方が何人かいた
- ・医療班 体調不良者なかった
- ・書籍係 芝田先生の書籍は 30 冊完売

(5). 各種部会の取組み

1. 国保部会(9/14 に開催、次回は 10/19)

① 国保の国庫負担増額等を求める意見書採択運動

- ・9 月現在、請願陳情議員発議は、24 都道府県 144 自治体で採択、国の意見書は 144 本
- ・6 月議会、埼玉富士見市、群馬安中市で意見書

② 滞納処分相談対応マニュアル WEB 学習会（別紙）130 名参加

日程：2026 年 8 月 20 日（木）18 時 00 分～19 時 30 分

会場：医療労働会館 2 階会議室（B）+WEB

内容：滞納処分相談対応マニュアルを学び、活動に活かす

講師：滞納処分対策全国会議 事務局長 弁護士 佐藤 靖祥さん

③ 秋の国保集会に向けて

日程：2026年12月6日（日）13時30分～17時00分

会場：医療労働会館2階会議室（A）（B）を確保

内容：各地の実践報告とたたかいの意思統一

④ 国保をめぐる厚労省要請

日程：2026年12月7日（月）午前中

会場：議員会館を確保する

内容：国庫負担増額、統一国保反対、国保逃れ、子育て支援金制度、出産一時金など

2. 介護・障害者部会(9/2 次回は10/7)

① 第16回介護・認知症なんでも無料電話相談

日程：2026年11月11日（水）10時～17時

会場：東京会場 東京労働会館ラパスホール（東京都豊島区南大塚2-33-10）

- ・東京社保協、平和電気との打ち合わせを8月6日（木）9:30～10:30で実施
- ・發文とアンケート（申し込みフォーム）電話相談チラシ8/7発出
- ・平和電気への申し込み締め切り 9月25日（必着）
- ・フリーダイヤルの接続テスト 11月2日（火）

② 臨時国会 秋の介護署名提出&厚労省要請

日程：2026年11月17日（火）10時30分～16時00分

会場：衆議院第2議員会館第6会議室（定員42名 9時～16時）

会場が狭いため、参議院で会場を確保する（1カ月前）

③ 厚労省に現場の声を届ける取り組み

- ・介護報酬10%以上の引き上げを求めるとともに、介護利用料2割負担の対象拡大を行わないことを求める要望書
- ・2026年11月末までの短期の取り組みです。第1次集約は9月末、第2次集約は10月末、最終集約は11月末（厚労省に2026年11月17日提出）

④ 介護改善 共同の取り組み

ケア社会をつくる会 院内集会 日時：9月14日（月）14時～16時30分

場所：参議院会館 中央社保協はWEB配信を担当

第 24 回全国介護学習交流集会（別紙）日時：10 月 17 日（土）14 時～17 時

場所：全労連会館 2 階ホール 中央社保協は閉会挨拶・利用者立場の発言を組織

（6）. 高額療養費の改悪を許さないたたかい

- ・ 2025 年 12 月 24 日の厚労・財務大臣折衝で制度見直し案が合意。その内容は多数回該当の据え置きや現役世代への年間上限額の新設、年収 200 万円未満の所得区分での多数回該当の引き下げなど長期療養者に配慮する一方、2026 年 8 月に自己負担限度額を一律引き上げた上で、2027 年 8 月には所得を細分化し限度額をさらに引き上げ。引き上げ対象となる年 1 回から 3 回制度を利用する人は利用者の 8 割におよび、またすべての所得区分で負担増。
- ・ 高齢者は 2 年間で高額療養費・外来特例の限度額が引き上げ。年 260～370 万の高齢者(70 歳以上)は月額 1 万 8 千円が 2 万 8 千円と 1 万円値上げ。値上げ率 55%（保団連）

- ・ 7 月 6 日締切り、パブリックコメントの意見提出 5000 件以上の意見、大半が反対
- ・ 改悪を許さないため、議会請願・陳情、意見書採択運動を広げる
- ・ 7 月 29 日現在、28 都道府県 152 自治体、164 本の意見書があがっている
- ・ 6 月議会、むかわ町、江別市、美瑛市、市川三郷町、宮崎市で意見書が採択

（7）. OTC 類似薬の追加負担を許さないたたかい

- ・ 「一部保険外療養」は、医師が処方する医療用医薬品のうち市販薬と同等の効能を持つ「OTC 類似薬」の薬剤費を一部保険外とし、患者に負担を押しつけるもの。参議院の審議では「一部保険外療養」の適用対象が、薬剤に限定されるか薬剤以外の療養の給付全体に拡大されるかの法解釈が焦点に。厚労省は 5 月 21 日「法案第 63 条第 2 項第 6 号の規定は薬剤以外の『その他の療養』との文言だけで解釈すれば薬剤に限定されていない」と答弁しましたが、野党議員の追及もあり 5 月 28 日の審議で「薬剤のみを対象としたもの」と法解釈を修正。しかし法律の修正は行われず、今後拡大できる余地を残しました。
- ・ 今回の改悪により、政府は来年 3 月から OTC 類似薬のうち 77 成分 1100 品目の医療用医薬品の薬剤の 25%を保険対象外となります。これは単なる薬剤費の調整にとどまらず、対象薬剤の拡大や、将来的な診察・処置・手術への波及を前提とした「保険外しの基盤」となる法案であり「必要かつ適切な医療は保険診療により確保する」という国民皆保険制度の理念を根底から揺るがすものであり、断じて認めることはできません。患者の命と健康を切り捨て、国民皆保険制度を解体へと導く当該法律は直ちに廃止すべきです（全国総会）

今後のたたかい

- ・来年3月の実施を許さないため、議会請願・陳情、意見書採択運動を広げる（7月29日現在、10都道府県54自治体で53の意見書）
- ・6月議会、西和賀町、西東京市、川上村、南相木村、小梅町、飛騨市で意見書が採択
- ・厚労省は8月20日締切り、パブリックコメントの意見提出
- ・追加負担の対象とならない厚労省が示した配慮措置は実質「排除」

(8). 高齢者医療をめぐるたたかい(3割負担・外来特例廃止)

骨太方針2026「原則3割となっている現役世代との間で年齢によらない真に公平な応能負担を実現する観点から見直しを行う」と明記、窓口負担の抜本的見直し（負担増）を行う方針

- ・保団連 全国いっせいアンケート開始（別紙）協力を呼びかける
- ・11/19（木）高齢者の負担増問題で院内集会（別紙）年金者組合・保団連・中央社保協

(9). 保険証の復活を求めるたたかい

- ・7月末で従来の保険証の特例措置が廃止、周知不足で医療機関でのトラブルが続く
- ・7/8「8月以降も後期高齢者全員に資格確認書職権交付の継続を求める」厚労省要請を実施
- ・保険証の復活を求めるとともに、当面は、資格確認書の全員交付を求める
- ・12/11（金）マイナンバー制度反対連絡会が院内集会&デジ庁前抗議行動を予定

(10). 生活保護をめぐるたたかい

- ・生活保護引き下げ違憲訴訟の最高裁判決（2025年6月27日）後、厚労省は2026年8月1日～追加支給となる申し出受付を開始。
- ・申し出受付期間は2026年8月1日～2027年7月31日（1年間）
- ・対象世帯は2013年8月～2026年3月末の間に生活保護を受給していた世帯（現在生活保護受給者は2026年3月から、順次追加支給を開始）
- ・いのちのとりで裁判アクションは集団訴訟（目標1万人の不服申し立て）を予定
- ・全生連は、生活保護基準の大幅な引き上げを求める厚労省宛ての署名を開始
- ・各地の社保協では、自治体キャラバンで生活保護の窓口改善などを求める

(11). 補聴器助成制度拡充のたたかい

- ・補聴器助成自治体は1都3県723自治体へ（7月1日現在）

(12). 子ども医療費助成制度拡充(福祉医療含む)のたたかい

1. 子ども家庭庁 2025 年 4 月 1 日現在の「子ども医療費に対する助成の実施状況」を公表
2. 市区町村 18 歳まで(18 歳以上含む)助成対象(通院)1586 自治体 91%増加(前年比+131)
3. 通院の「窓口負担なし」は 1319 自治体 76%に増加(前年比+53)
4. 都道府県では 18 歳まで助成対象(通院)に秋田県が加わり 12 県に増加。また、通院・入院とも「窓口負担なし」は福島県・富山県・滋賀県が加わり 13 県に増加
5. 長野では 77 自治体のうち 50 自治体まで窓口無料化が急速に広がり、大阪では高槻市が府内で初めて無料化に踏み出す
6. 18 歳以上も無料化の対象にする自治体も増加傾向

今後のたたかい・課題

1. 地域から「18 歳まで医療費無料の国制度創設」を求める運動を進める
2. 自治体に「18 歳まで(18 歳以上)助成」「自己負担なし」の制度拡充を強める
3. 子ども医療費助成制度の自治体を支援する県制度の拡充を求める
4. 子ども医療費助成制度の全国的拡充の一方で、障害者医療費助成(知的障害・精神障害を含む)の拡充は遅れており運動を強化する
5. 子どもの入院時食事療養費助成制度の改悪が長野県内の自治体で一部進行
・障害者の医療費助成制度の拡充の意義と全国動向(障全協) 長野社保協より報告

(13). 共闘関係ほか

1. 安保破棄・国民大運動・中央社保協 3 者共催定例国会行動(水曜 12 時 15 分~13 時)
2. 大軍拡・大増税 NO! 連絡会(8/31 13 時 30 分)
3. 新型コロナ感染症対策検証・研究会への参加・協力
4. 第 17 回地域医療を守る運動全国交流集会実行委員会(別紙 チラシ案)
11 月 23 日(月・祝) 11 時~16 時 30 分 全労連会館
5. いのちまもる総行動実行委員会(10/29 に上野公園で開催 別紙 チラシ案)
全体で 1200 名、社保協 100 名(会場が狭いため土建動員はしない、宣伝カーなし)
医療・介護利用者の立場からの発言を組織する
6. 第 24 回全国介護学習交流集会実行委員会(開催 10/17)
7. 全労連 公共・社保闘争会議(9/9 10 時 30 分~)
8. いのちとくらしを守る税研集会実行委員会(8/31)
9. マイナンバー制度反対連絡会 8/26 総会
10. 子ども医療全国ネットワーク
11. 高齢者中央集会実行委員会

(14). 社保協の体制強化・学習運動の推進

1. 自治体キャラバン・地域社保協づくり・地域社保協の相互交流（2026 年 7 月以降）

- ・ 京都「南丹市社保協結成総会」2026 年 7 月 11 日（土）
- ・ 福岡「嘉飯地区社保協」結成 2026 年 7 月 29 日（水）
- ・ 北海道「岩見沢社保協」設立総会 2026 年 8 月 22 日（土）
- ・ 東京「豊島区社保協」再建総会 2026 年 8 月 26 日（水）
- ・ 奈良「大和郡山市社保協」結成総会を 12 月予定
- ・ 京都「木津川市」で地域社保協結成の動き
- ・ 三重「三四社保協準備会」2025 年 10 月より 2026 年秋までに結成
- ・ 新潟「県社保協の自治体キャラバン」10 年ぶりに再開を目指す

2. ブロック対策の強化（総会方針）

- ・ 北海道・東北ブロック（9/24）地域医療をテーマに課題別交流会を展望
- ・ 関東甲ブロック（9/28）
- ・ 北信ブロック（9/15）地域社保協づくりと自治体キャラバン交流会を展望
- ・ 東海ブロック（9/11）
- ・ 近畿ブロック（9/16）1/11（月・祝）近畿ブロック新春学習会を滋賀で開催予定へ
- ・ 中国ブロック（9/29）
- ・ 四国ブロック（10/1）中央社保学校 from 香川の成功に向けて実行委員会立ち上げ
- ・ 九州沖縄ブロック（9/17）

3. 学習運動の強化

- ・ 社会保障入門テキスト（第 1 号～3 号）を活用した学習運動
- ・ 介護保険制度の抜本改革提言（介護パンフ）を活用した学習運動
- ・ 安心できる国保のために（国保パンフ）を活用した学習運動

4. 隔月間「社会保障」購読者の拡大 購読者は現在 1905 部、早期 2000 部回復が必要

- ・ 秋号（528 号 9/10 発行）テーマ「誰もが自由に移動できる権利を」
- ・ 冬号（529 号 11/10 発行）テーマ「中央社保学校 from 盛岡」
- ・ 新春号（530 号 1/10 発行）テーマ「自治体が果たす役割とは？（仮題）」
- ・ 編集委員、現在事務局 2・保団連・民医連・全労連・医労連・東京の 7 名
- ・ 中央団体からの編集委員を補強する
- ・ 次回の社保誌編集委員会 11/06（金）10 時 00 分～

(15). 来年の全国総会、中央社保協結成 70 周年(2028 年 9 月 5 日) に向けて

■第 51 回中央社保協全国総会に向けて (案)

- ・ 2027 年の中央社保協全国総会も宿泊開催とする
- ・ 日程調整の結果、2027 年 8 月 1 日 (日) ～8 月 2 日 (月) としたい
- ・ 会場は東日本 (仙台周辺) で確保する

■第 52 回中央社保協全国総会 & 結成 70 周年記念レセプションに向けて

日程候補：2028 年 9 月 2 日 (土) ～9 月 3 日 (日) 日程の確認と会場確保を急ぐ

- ・ 記念誌を作成する 社会保障誌の臨時号で作成する方向で打合せを予定

(16). 今後の予定

- 10/01 (木) 四国ブロック 14 時～／いのちまもる国民集会実行委員会
- 10/02 (金) 全生連大会挨拶／大軍拡大増税 NO 連絡会
- 10/07 (水) 第 3 回介護障害者部会/第 3 回運営委員会／第 1 回定例国会行動
- 10/08 (木) 社保誌初稿戻し
- 10/17 (土) 全国介護学習交流集会 (全労連会館 予定)
- 10/19 (月) 国保部会
- 10/20 (火) 世田谷高齢者の集い 13 時 30 分～ (講師)
- 10/21 (水) 第 2 回定例国会行動 (行動提起)
- 10/22 (木) いのちまもる国民集会実行委員会
- 10/23 (金) 地域医療守る全国交流集会実行委員会 16 時
- 10/26 (月) 社保誌念校戻し／25 条宣伝 12 時～ (御茶ノ水)
- 10/28 (水) 代表委員会 18 時～
- 10/29 (木) いのちまもる総行動 (上野公園)
- 11/04 (水) 第 4 回介護障害者部会/第 4 回運営委員会／第 3 回定例国会行動
- 11/05 (木) 岡山学習協・連続学習会 (講師)
- 11/06 (金) 社保誌編集委員会／宮城県社保協結成 30 周年レセプション
- 11/08 (日) 全商連共済会理事会学習会講師 (10 時 15 分～市ヶ谷)
- 11/11 (水) 介護・なんでも無料電話相談 (予定)
- 11/13 (金) 全労連社保 WEB 集会／税研修会実行委員会
- 11/16 (月) 国保部会
- 11/17 (火) 介護署名提出集会 & 厚生労働省交渉
- 11/18 (水) 第 4 回定例国会行動 (主催者挨拶)
- 11/23 (祝・月) 地域医療守る全国交流集会 (全労連会館)

11/25（水）25 条宣伝 12 時～（新宿南口）代表委員会 18 時～
11/29（日）越谷社保協学習会講師 13 時～
12/02（水）第 5 回介護障害者部会/第 5 回運営委員会
12/06（日）秋の国保改善運動全国交流集会（予定）
12/07（月）国保厚労省要請
12/08（火）東海ブロック会議 14 時～（愛知）林
12/09（水）九沖ブロック会議 14 時～（WEB）名嘉
12/10（木）北海道・東北ブロック会議 13 時 30 分～（岩手）林
12/11（金）マイナ連絡会院内集会 & デジ庁前抗議行動
12/14（月）近畿ブロック会議 15 時～（大阪）名嘉
12/18（金）地域医療守る全国交流集会実行委員会 16 時～
12/21（月）国保部会
12/22（火）北信ブロック会議 14 時～（新潟）林
12/23（水）代表委員会 18 時～

2027 年

1/06（水）第 6 回介護障害者部会/第 6 回運営委員会
1/11（月・祝）近畿ブロック新春懇談会
1/23（土）東京社保学校（講師）
1/27（水）代表委員会 18 時～
2/03（水）第 7 回介護障害者部会/第 7 回運営委員会
2/11（祝・木）2027 全国代表者会議（予定 全労連会館ホール予約済）
2/12（金）国会行動（予定）
2/24（水）代表委員会 18 時～

(17). 次回の代表委員会

2026 年 10 月 28 日（水）18 時 00 分～ 会場 医療労働会館 2 階 B 会議室+オンライン

平和と社会保障守ろう

盛岡 中央社保学校始まる

「人権といのち輝く社会保障の未来を描こう―分断と孤立、世代間対立を乗り越えて―」をテーマに第53回中央社会保障学校が5日、盛岡市の会場とオンラインを結んで開かれました。中

央社会保障推進協議会（中央社保協）と現地実行委員会が主催しました。6日まで。

主催者あいさつで現地実行委員長佐藤嘉夫岩手社保協会会長は、高市早苗首相

の進める「強い国」と大軍拡、社会保障削減を絶えず批判し、チェックすることが必要だと強調。全国活動に学び合い、持ち帰って闘いの場に役立てよう」と述べました。

社会保障研究者の芝田英昭氏が講演し、生活保護や外国人、障害者、性別など生存権を具現化する訴訟と国民運動が社会保障発展の原動力だと強調。第2次安倍晋三政権から「戦争する

国」づくりが進むもと、「人」を生かすことと、殺すことは相反する。憲法や国際法に基づいて権力者の暴走を止めることが重要だ。平和と社会保障を維持しよう」と語りました。

シンポジウムで、東日本大震災から15年の被災地・岩手県の代表は、国の全額支援終了後も医療費免除を長期継続した県の政策を報告。「平時時から医療や介護、福祉を守り、地域のつ

ながりを育てておくことが次の災害への備えとなる」と指摘しました。福島県の代表は原発事故のとりかえしのつかない被害を、石川県の代表が能登半島地震で見たコミュニケーション再建の大切さを述べました。

しんぶん赤旗 2026 年 9 月 6 日付

平和守る政治へ転換を

盛岡市で5、6両日開かれた第53回中央社会保障学校にはオンラインを含むべ360人以上が参加しました。6日は社会保障入門講座と、いのちのとりで裁判、自治体キヤラバン、岩手県旧沢内村（現西和賀町）の生命尊重行政など四つの分科会が行われました。

入門講座で尚絅学院大学名誉教授の岩倉政城宮城県社保協会長は、介護保険制度で企業負担抑制、受益者負担が強まってい

ると指摘。介護は税で賄う社会保障制度を展望し「金もうけ至上主義の国家から憲法9条、平和を守る政治への転換を図ろう」と述べました。

分科会「地域社保協と自治体キヤラバン」では、アンケートや懇談を通して生活向上や施策改善につなげる自治体キヤラバンの意義や教訓、地域社保協の役割について議論しました。

愛知県社保協の代表は46年間の実践で「運動すれば要求は実

現することに確信を持てる」と強調。自治体での施策の実施状

況を示すことで要請に込めようとする医療・福祉担当者への手助けとなると語りました。

会場から「地域に社保協がない。要求実現のセンターの役割を果たすため、なんとしても発足させたい」との発言がありました。

参加した岩手県北上市の男性（50）いわて労連ローカルユニオンは「社会保障縮小の動きを乗り越えれば労働者の暮らしがよくなると知った。学んだことを仲間へ伝え、運動の助けになりたい」と語りました。

来年は香川で開催されると報告されました。

中央社保学校おわる



会場内を動き回りながら講演する岩倉氏。6日、盛岡市

中央社保協ニュース



いかそう!
憲法 25 条

中央社会保障推進協議会 2026 年 9 月 9 日 26-12 号

110-0013 東京都台東区入谷 1-9-5 医労連会館 5 階

電話 03-5808-5344 FAX03-5808-5345

メール k25@shahokyo.jp HP <https://shahokyo.jp/>

第 53 回中央社会保障学校 from 盛岡

360 名を超える参加者で大成功！



9 月 4・5 日に岩手県盛岡市で開催された第 53 回中央社会保障学校は、360 名を超える参加者(WEB 含む)で大成功を収めました。学習講演、シンポジウム、社会保障学校、4 つの分科会と参加者の期待に応える学びの機会となりました。オプション企画の 2 コースに分かれたフィールドワークも、小雨の中ではありますが無事に終了し全日程を順調に終えることができました。次回は香川県で開催予定です。どうぞ、ご期待ください。



オープニングの岩手愛児会の皆さんの迫力ある和太鼓の演奏は、参加者を魅了しました。



全大会の様子



開会あいさつ：岩手社保協の佐藤嘉夫会長



司会を務めたお二人、左は小野寺さん(岩商連)、右は吉田さん(岩手医連)



第 1 分科会の様子



第 2 分科会の様子



学習講演：芝田英昭先生



入門講座：岩倉政城先生



FW①生命尊重行政のまち・旧沢内村を巡る

＝社保学校参加者の皆さんへ＝

第 53 回中央社保学校の感想文フォームのバーコードに不具合があり、ご迷惑をおかけしました。右のバーコードから感想文をお寄せください。次回の社保学校準備・運営の参考にさせていただきます。また、中央社保協の HP にはバーコードのほか URL も掲載していますので、PC からの入力も可能です。



閉会あいさつ：安達克郎先生

ありがとうございました。ご苦勞様でした！

2026年9月8日（火）
No11

あひるんせ通信

第53回

中央中央社会保障学校 from 盛岡

人権といのち輝く社会保障の未来を描こう
～分断と孤立、世代間対立を乗り越えて～

現地 & WEB 360名が集う



第53回中央社保学校が9月5～6日の2日間、盛岡で開催され現地・Web360名以上が参加し、学習交流を深めました。また、7日オプションで開催されたフィールドワークでは、旧沢内村を巡るコースと陸前高田の2つのコースで行われました。陸前高田コースでは、地元住民も参加する元県立高田病院院長を招いての講演会に全体70名を超す参加者が集いました。

生命を生み出す母親は 生命を育て 生命を守ることをのぞみます

日本母親大会 in 宮城 9月12日（土） 13日（日）

〔発行〕 第53回中央社保学校現地実行委員会（北海道・東北ブロック）・中央社会保障推進協議会

☎03-5808-5344 Fax.03-5808-5345 E-mail: saikasho25@shahokyo.jp ホームページ: <https://shahokyo.jp>

1^{日目} 9/5 土

〈学習講演〉

人権といのち輝く 社会保障の未来

講師／芝田英昭氏（大東文化大学社会学部非常勤講師）

1日目の学習講演には芝田先生を迎え、社会保障運動がたたかいの歴史であることを強調しながら、生存権を具現化する訴訟と国民運動が社会保障発展の原動力となっていることを指摘、たたかいの重要性を参加者に語りかけました。

当日、講師の書籍は即時完売しました。



〈シンポジウム〉

東日本大震災から15年 震災と社会保障を考える （岩手・福島・能登からの報告）

コーディネーター・佐藤嘉夫氏（岩手社保協会会長）

シンポジスト

- ・岩手 吉田裕也氏（岩手民医連事務局長）
- ・福島 野木茂雄氏（ふくしま復興共同センター代表委員）
- ・能登 水上幸夫氏（石川社保協）

シンポジウムでは被災3県からの報告。震災時それぞれの現状とこれまでの課題を共有しながら、多くの質疑が行われました。



2^{日目} 9/6 日 社会保障入門講座

講師 岩倉政城氏（宮城県社保協会会長／尚絅学院大学名誉教授）

2日目「社会保障入門」では『貧困と格差に抗する民衆の運動としての社会保障』と題して講演。金儲けの至上主義の国家から憲法9条、平和を守る政治への転換を、敵を誤らず、労働者・年金者・障害者・広範な市民が手をつなぎ合った政治のうねりの中で初めて切り開けると訴えました。



2 9/6 日 分科会



分科会
1

生活保護から生活保障へ

特別報告「憲法25条に基づく生活保護制度改善の意義と課題」 沼田崇子氏（元岩手県職員）

- ・報告「いのちのとりで裁判・各地のだたかい」
青森社保協. 秋田守る会. 愛知社保協
- ・報告「年金底上げのだたかいと課題」
廣岡元穂氏（年金者組合）
- ・報告「最低賃金引き上げのだたかいと課題」
秋田医労連



分科会
2

地域社保協と自治体キャラバン

- ・報告①「自治体キャラバンの6つの意義」
津田和夫氏（愛知社保協）
- ・報告②「ポストの数ほど地域社保協を」
早川國弘氏（岐阜県社保協）
- ・報告③「南丹社保協を結成して」
麻田育良氏（京都・南丹市社保協）
- ・報告④「地域社保協交流会を機に結成」
赤尾章紀氏（埼玉・深谷寄居社保協）



分科会
3

旧沢内村の生命尊重行政から学ぶ

- ・報告「旧沢内村の生命尊重行政」
高橋和子氏（旧沢内村保健師）
- DVD上映「自分たちで生命を守った村」
- ・報告「老人医療助成小さな川北町の大きな取り組み」 寺越博之氏（石川社保協）
- ・報告「医療費無料化の意義」
東京高齢期運動連絡会



分科会
4

映画いのちの山河から学ぶ

- ・報告「映画制作について」
吉田敏恵氏（岩手生協連）
- 映画「いのちの山河」撮影の際、地元からのエキストラで参加した当時の吹雪の撮影現場などの苦労話なども映画上映の前にお話頂きました。

*詳しくは次号「社会保障誌」に掲載されますので、しばらくお待ちください。

おでん世通信

2026年9月14日（月）最終号

第53回

中央央社会保障学校 from 盛岡

第53回中央社会保障学校を終えて

山本公行（青森県社保協：中央社保学校実行委員）

第53回中央社会保障学校が9月5～6日に岩手県盛岡市で開催されました。

参加者はWebを含めて360名を超えました。

オープニングは、岩手愛児会の皆さんの和太鼓。（私は受付担当だったので観ることはできませんでした。残念！）

そして、岩手県社保協会長・佐藤嘉夫さんの主催者挨拶に続き、芝田英明氏の講演「人権といのち輝く社会保障の未来」、シンポジウム「東日本大震災から15年」（コーディネーターは佐藤嘉夫氏、シンポジストに岩手の吉田裕也氏・福島野木茂雄氏・能登の水上市幸夫氏）。

二日目は、宮城県社保協会長の岩倉政城氏の「社会保障入門講座」と、4つの分科会（生活保護から生活保障へ、地域社保協と自治体キャラバン、旧沢内村の生命尊重行政から学ぶ、映画いのちの山河から学ぶ）、そして安達克郎・中央社保学校長の閉校挨拶で幕を閉じました。

青森からは、目標の20人を超える24人の参加で、1日目の夜の懇親会も盛り上がりしました。

現在の貧弱な日本の社会保障を、まともな社会保障にする闘いを広げる力にできた中央社保学校だったと思います。みなさん、頑張りましょう。

次回：第54回中央社保学校は香川県開催予定です！



<あとながき> 高橋隆一（宮城県社保協事務局長）

中央社保学校参加呼びかけの一助として始めた「おでん世通信」は今回で最終号となります。

全国各地から360人を超える参加者のみなさんには大変ありがとうございました。

中央社保協及びブロック7道県のみなさん大変お疲れ様でした。岩手県社保協の真骨頂に感銘を強く受けました。

【発行】 第53回中央社保学校現地実行委員会（北海道・東北ブロック）・中央社会保障推進協議会

☎03-5808-5344 Fax.03-5808-5345 E-mail:sanikashaho25@shahokyo.jp ホームページ:https://shahokyo.jp

9/7 月 フィールドワーク

旧沢内生命行政巡るコース35名／陸前高田巡るコース17名

西和賀 沢内方面

旧沢内生命行政を巡るFWでは、町立さわうち病院院長を迎えた講演が行われ、ご自身の紹介をしながら現在の病院の理念や思いが語られました。また、元村長深澤資料館の開館までの時間で、旧沢内村の元保健師の方からバスの中での当時を知る話もありました。



町立西和賀さわうち病院院長を招いての講演



旧沢内巡るFW参加者



元村長 深澤晟雄資料館見学



東日本大震災時、県立高田病院院長を迎えた講演会には住民50人以上が参加し会場が満杯となりました。講師の震災当時の話に涙しながら、会場の共感が広がりました。また、元市職員からも現在まで復興に関する講演も行われ、学びを深めた時間となりました。



陸前高田FW参加者



旧市職員を招いての講演



元県立高田病院院長を招いての講演会には、住民も参加し70名

全世代の一大事?!

年金をあてに
できないし困った...



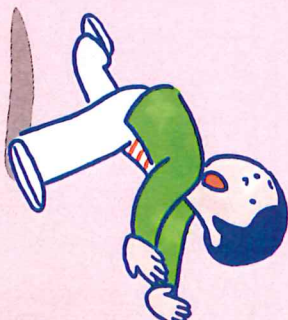
高齢者も

医療費 窓口負担

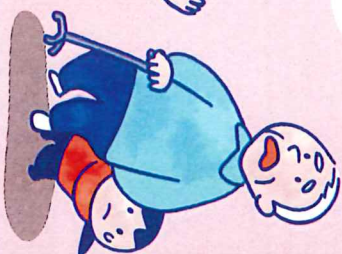


政府は、70歳以上の医療費窓口負担を
「原則 3 割」にしようとしています。
高齢者に相次ぐ負担増。
この改悪、現役世代にも影響が!

親の介護で
離職することに



病院に行く回数を
減らすしか...



あたる!!

抽選で50名に
熊本復興支援
カタログギフト



全国いっせいアンケート実施中!

あなたの声を
聞かせてください

郵便はがき

151-8790

209

料金受取人私郵便

代々木局
承認

4388

差出有効期間

2027年2月

28日まで

(切手不要)

東京都渋谷区代々木2-5-5
新宿農協会館5階

全国保険医団体連合会 行



フリガナ	
お名前	〒 -
ご住所	
電話番号	
締め切り	2027年1月29日 (当日消印有効)
当選発表	景品の送付をもって代えさせていただきます。 なお、応募はお1人様1通までとさせていただきます。
アンケートを受けた場所	(医療機関名など)

※絵圖では書かなくて大丈夫。

カタログギフトあたる！アンケートにご協力を！

患者負担を増やさなくても
社会保険料は軽減できる！



増やそう！

国や大企業の
社会保障費の負担



見直そう！

大企業・超富裕層
優遇の税制



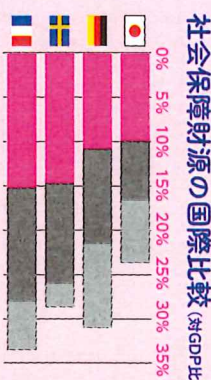
改めよう！

世界第3位の軍事費へ
防衛費に
予算を使いすぎ

私たちの社会保障料の負担は世界
の中でも重い。その一方で、国の
負担や大企業の社会保障料負担
は少ないのが実態です。

大企業の負担する法人税は企業
の規模が大きいほど、負担率が下
がります。

社会保障費を抑える一方で、毎年
急増しているのが防衛費。アメリカ
が求める「GDP比3.5%以上」が実
行されれば、防衛費は21兆円に！

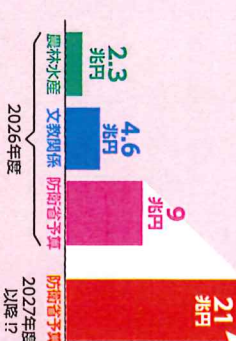


■ 一般政府拠出 ■ 社会保障料拠出 = 事業主拠出
■ 社会保険料拠出 = 被保険者拠出
出所: 「令和5年度社会保障費用統計」より作成
日本は2023年度、他は2022年度

1億円を境に下がる
実質法人税負担率



激増予測の防衛省予算



トランプが
政権が
要請

全国保険医団体連合会

〒151-0053
東京都渋谷区代々木2-5-5 新宿農協会館5階

TEL 03-3375-5121
FAX 03-3375-1862



ぜび全国いっせいアン

あてはまる番号を選び、右ページの回答欄にお書きください。

Q1 年齢をお書きください

Q2 現在の窓口負担の割合であてはまる番号を選んでください

① 1割 ② 2割 ③ 3割 ④ その他 (自由記述)

Q3 毎月平均して、どの程度の医療費(薬代や窓口負担など)負担がありますか

① 1万円未満 ② 1万円以上3万円未満 ③ 3万円以上5万円未満
④ 5万円以上7万円未満 ⑤ 7万円以上9万円未満 ⑥ 9万円以上

Q4 医療費(薬代や窓口負担など)の負担感について

① 重い ② やや重い ③ 重くない ④ どちらとも言えない

Q5 お金の心配をして、受診を控えたことがありますか

① ある ② ない

Q6 医療や介護への不安について (複数回答可)

① 医療費負担が重く、受診が出来なくなる不安
② 家族の医療や介護の費用負担が不安
③ 老後の生活費の不安 ④ 不安はない
⑤ その他 (自由記述)

あなたご自身についてお伺いします

みんな
3割負担で
いいんじゃない?
平等じゃん!



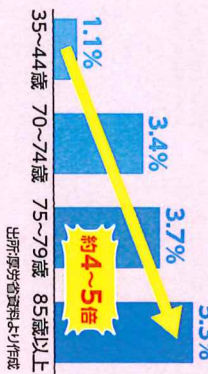
高齢者への
負担増は
全世代に影響
するんだよ!



高齢者の3割負担は ヒトゴトじゃない!

1 高齢者は収入に占める
医療費の割合が高い

収入に占める医療費窓口負担の比率



3 誰だって将来は
高齢者になる

2 親を支える世代への
影響大

年金生活の親の医療費が増えれば、家計を支える現役世代にも影響が及ぶ可能性があります。高齢者医療費の負担増は、全世代の家計に関わる問題です。

どんなに健康に気をつけていても、年を重ねると医療にかかる機会も増えるよ...

自分を年をとった時に安心して医療が受けられたいと願うよね



高齢者の窓口負担増は全世代でとめなくちゃ!

アンケートにご協力ください



Webからも
回答いただけます



あなたのご家族についてお伺いします

Q7 親や祖父母の医療費(薬代や窓口負担など)を負担したことがありますか

- ①ある ②ない

Q8 **Q7**で「ある」と答えた方は**年間**どの程度の負担をしましたか

- ① 1万円未満 ② 1万円以上3万円未満 ③ 3万円以上5万円未満
④ 5万円以上7万円未満 ⑤ 7万円以上9万円未満
⑥ 9万円以上11万円未満 ⑦ 11万円以上

Q9 親や祖父母の医療費(薬代や窓口負担など)の負担感について

- ①重い ②やや重い ③重くない ④どちらとも言えない

Q10 親や祖父母の病気などで経験したことについて

あてはまるものを選んでください (複数回答可)

- ①入院や通院のために仕事を休んだ(業務調整をした)
②入院や通院のために仕事を辞めた
③入院や通院のために引越した
④特に経験していない ⑤その他 (自由記述)

Q11 政府は高齢者の医療費負担を増やそうとしています。家族の医療費のこと、ご自身の医療費負担のこと、受診を控えた経験など、感じていることをお書きください (自由記述)

ご回答ありがとうございました。

あたる!
熊本復興支援
カタログギフト

アンケートに回答いただくと、抽選で50名にカタログギフトがあたります



アンケート回答欄

左記アンケートの あてはまる番号 に ☒ チェックをお書きください。

Q1	歳									
Q2	☐ ①	☐ ②	☐ ③	☐ ④	()					
Q3	☐ ①	☐ ②	☐ ③	☐ ④	☐ ⑤	☐ ⑥				
Q4	☐ ①	☐ ②	☐ ③	☐ ④						
Q5	☐ ①	☐ ②								
Q6	☐ ①	☐ ②	☐ ③	☐ ④						
	☐ ⑤	()								
Q7	☐ ①	☐ ②								
Q8	☐ ①	☐ ②	☐ ③	☐ ④	☐ ⑤	☐ ⑥	☐ ⑦			
Q9	☐ ①	☐ ②	☐ ③	☐ ④						
Q10	☐ ①	☐ ②	☐ ③	☐ ④						
	☐ ⑤	()								
Q11										

※アンケートの回答や個人情報は調査内容の分析および景品の発送以外に使用しません。



—高齢者と医師・歯科医師が訴えます—

国会集会

高齢者の負担増は全世代の大問題！

11月19日（木）12：00～

場所：国会（決まり次第案内します）

高齢者の負担増についてアンケートリーフに寄せられた声

○親がガン治療で通院していた時、経済的にも精神的にもとても負担で苦しかった。

将来がとても不安です（41歳女性）。

○金銭的負担が増えると受診を控えてしまう（72歳男性）。

主催：全日本年金者組合、中央社保協、全国保険医団体連合会

2026
10月17日
SAT
14:00~

第24回

全国介護学習交流集会

介護の未来を語ろう
～誰もが希望持てる介護保険制度の確立を～

記念講演

介護保険制度はどう変わるのか



志田 信也 さん

公益社団法人認知症の人と家族の会副代表理事
同会 介護保険・社会保障専門委員会委員長
同会 山形県支部世話人（会報編集担当）
厚生労働省社会保障審議会介護給付費分科会委員
医療法人社団楽聖会 介護事業統括兼事業推進担当理事
介護福祉士・社会福祉士・介護支援専門員

特別報告

介護現場の現状と変化

介護労働者の実態／事業所の状況／利用者・家族の現状と変化

会場

平和と労働センター・全労連会館2階ホール

〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4 TEL 03-5842-5610

最寄り駅 JR・丸ノ内線「御茶ノ水」駅（徒歩5分）

千代田線「新御茶ノ水」駅（徒歩5分）

参加費 無料 時間 14:00～17:00（開場13:30）

ZOOM

<https://x.gd/k0jU3>

ID: 816 9577 4595

パスコード: 028872



YouTube

<https://x.gd/W3yqs>



資料
ダウンロード



全国介護学習交流集会実行委員会

中央社保協、全日本民医連、全労連、自治労連、日本医労連、福祉保育労、
生協労連、建交労、全労連・全国一般、東京地評、ホームヘルパー全国連絡会

<問合せ> 全労連介護・ヘルパーネット 東京都文京区湯島2-4-4 4階 TEL 03-5842-5611

<https://x.gd/EHvAJ>



いのちまもる



2026年

10月29日 木 集会 13:30~14:40
パレード 15:00~

上野恩賜公園野外ステージ

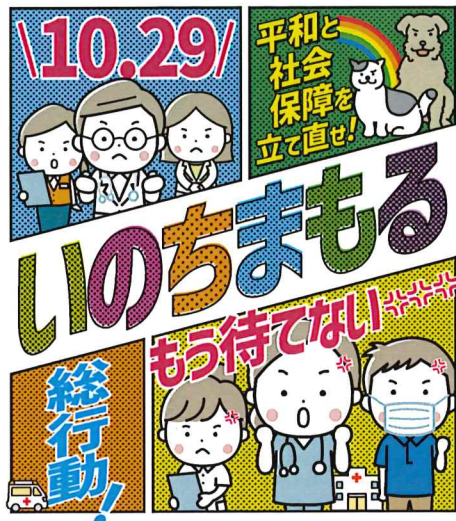
東京都台東区上野公園2-1 TEL 03-3828-5644

- ケア労働者の大幅増員・大幅賃上げ、報酬の緊急大幅引き上げを!
- 医療・介護負担増反対! 医療・介護保険制度改悪阻止!
- 医療・介護・福祉・保健の現場を守れ!
- ミサイルよりケアを、軍拡ではなく社会保障に予算を回せ!

主催 「もう待てない☆☆☆ 平和と社会保障を立て直せ! 10.29いのちまもる総行動」実行委員会

事務局 全国保険医団体連合会 / 全日本民主医療機関連合会 / 日本医療福祉生活協同組合連合会 / 日本医療労働組合連合会 / 全国大学高専教職員組合 / 日本自治体労働組合総連合 / 東京医療関連労働組合協議会 / 全国福祉保育労働組合 / 中央社会保障推進協議会 / 新医師

連絡先 日本医療労働組合連合会 110-0013 東京都台東区入谷1-9-5医療労働会館3F TEL03-3875-5871 <http://www.irouren.or.jp/>



タイムテーブル

- 13:30 開会**
 主催者挨拶
 メッセージ紹介
 国会議員挨拶
 リレートーク
 集会アピール確認・
 シュプレヒコール
- 14:50 閉会挨拶**
- 15:00 パレード開始**

熱中症・新型コロナ対策

各自ご留意ください。

オンラインの活用

全国各地で、オンラインやSNSも活用した行動を計画してください。

- ①集会はオンラインで配信します。
※URL等は公式サイトでお知らせします。
- ②集団視聴をしたり、集会に呼応した行動を計画したりしましょう。
- ③ハッシュタグ「#いのちまもる10・29」をつけて各団体の取り組みを発信してください。

「いのちまもる10・29総行動」ウェブサイト
<https://undow5.wixsite.com/inochimamoru>

会場

上野恩賜公園野外ステージ
 東京都台東区上野公園2-1 TEL: 03-3828-5644

交通のご案内

- JR御徒町駅から徒歩5分
- JR各線・東京メトロ各線上野駅から徒歩7分
- 京成本線京成上野駅から徒歩3分
- 地下鉄千代田線湯島駅・銀座線上野広小路駅から徒歩3分

「もう待てない」平和と社会保障を立て直せ！ 10.29いのちまもる総行動」への 賛同と参加を呼びかけます

「いつでも、どこでも、だれでも必要な時に、安全・安心の医療・介護・福祉が受けられる」ことは、国民の最も切実な願いであると同時に、憲法25条で生存権として保障された権利でもあります。

政府の医療費をはじめとする社会保障抑制政策は、経営悪化―病床削減などの提供体制縮小―ケア労働者の低賃金―離職者増―サービスの質低下―さらなる経営悪化―倒産という負の連鎖を増長しています。

今年度の診療報酬改定は30年ぶりと言われる3.09%のプラス改定となり、介護・障害福祉報酬についても臨時改定が実施されました。改定では医療・介護・福祉業界の厳しい状況をうけて補正予算やベースアップ評価料の引き上げ等が行われましたが、ケア労働者の賃金は、他産業の賃上げには遠く及ばず、物価高騰に追いついていない状況が続いており、現場はもう限界です。

OTC類似薬の保険外しや高額療養費の負担上限見直しなど、わずかな保険料負担の軽減と引き換えに、患者負担増が強行されました。さらに、今後、高齢者(70歳以上)の医療費3割負担の対象拡大や介護の利用者2割負担の対象拡大など、さらなる負担増がねらわれています。また、未だに様々なトラブルが起きているマイナ保険証も見直す姿勢は見られません。

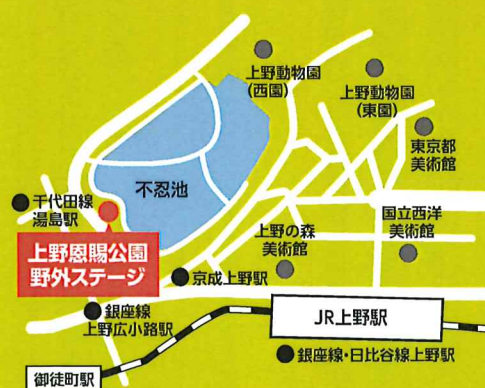
このままでは、政府の進める社会保障制度の解体によって、国民皆保険制度の根幹である「いつでも、どこでも、だれでも必要な時に、安全・安心の医療・介護・福祉が受けられる」権利が脅かされてしまいます。

一方で、今年度の防衛費は、12年連続で過去最大を更新しており、防衛特別所得税の創設や武器輸出の全面解禁のみならず、有事の際に防衛装備品の生産工場を国有化するための法案創設も狙われています。高市首相は「時が来た」として憲法9条の改憲を公言しています。社会保障の削減と軍事拡大路線は、戦争国家への道につながる極めて危険な国家運営です。

医療・介護・福祉・公衆衛生の充実のために、診療報酬・介護報酬の大幅引き上げ、患者・利用者負担の軽減、ケア労働者の賃上げ・処遇改善、大幅増員は待ったなしの課題であり、国が責任を持って実行すべきです。軍拡に向けた動きを許さず、国民生活最優先の政治に転換させ、社会保障に予算を回せと主権者である私たち国民が声を上げ続けることが重要と考えます。

私たちは以下の4点を掲げて「もう待てない」平和と社会保障を立て直せ！10.29いのちまもる総行動」を開催し、多くの市民・団体にアピールするとともに、いのちとくらし、人権をまもる政治の実現を求めて政府に働きかけることにしました。つきましては、皆様のご賛同・ご参加をここから呼びかけます。

- ①ケア労働者の大幅増員・大幅賃上げ、報酬の緊急大幅引き上げを！
- ②医療・介護負担増反対！医療・介護保険制度改悪阻止！
- ③医療・介護・福祉・保健の現場を守れ！
- ④ミサイルよりケアを、軍拡ではなく社会保障に予算を回せ！



YouTube
 10.29総行動
 公式サイト



YouTube
 からでも
 当日参加可能

≡ 11月11日は「介護の日」 ≡

第
16
回

介護・認知症 なんでも**無料**電話相談

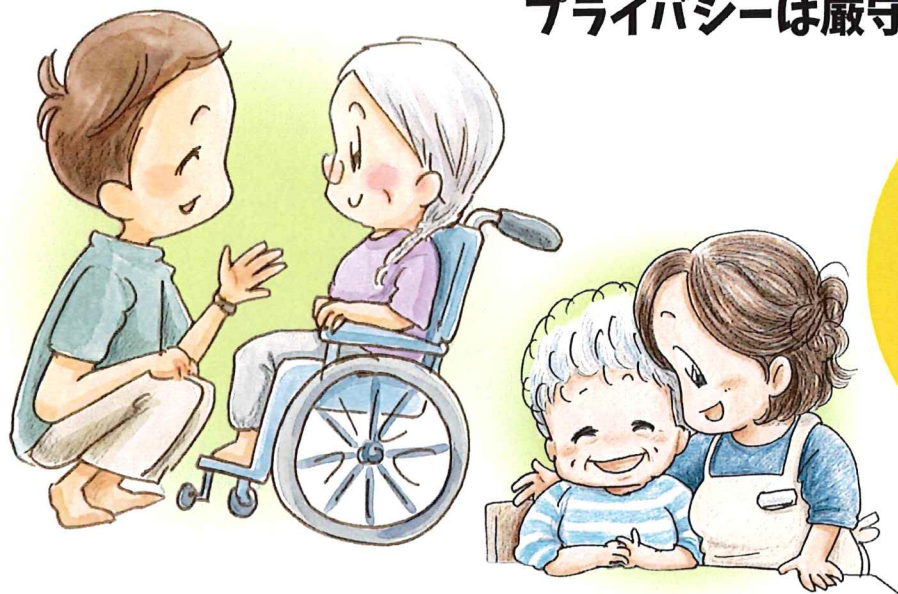
とき 2026年11月11日(水)10時～17時



0120-110-458

介護・認知症なんでも無料電話相談には、介護の専門家が対応します。

プライバシーは厳守します。



中央社会保障推進協議会

〒110-0013 東京都台東区入谷1-9-5 日本医療労働会館5F

TEL 03-5808-5344 FAX 03-5808-5345



※メールでのご相談は中央社保協代表メールをご利用ください。

e-mail : k25@shahokyo.jp



第17回 地域医療を守る運動

全国交流集会



いま、国が進める「全世代型社会保障改革」を推進、具体化するために、「新たな地域医療構想」のもと、全国各地で病床の削減や病院の統廃合問題が深刻化しています。身近な医療機関の休止・廃院は、私たちのいのちと健康な暮らしに重大な影響を与えます。医療は費用対効果だけで測れるものではありません。災害や新興・再興感染症への備えも含め、必要な時にいつでも適切な医療を受けられる体制が必要です。国や自治体の押し付けではなく、地域の特性や住民の切実な声に基づいた医療提供体制をつくることが求められています。本集会では、各地の現状や先進的な取り組みを交流し、地域医療の充実へつなげていく運動の重要性を確認していきます。地域住民が主役となり、誰もが安心して住み続けられるまちづくりへつなげるため、ともに一歩を踏み出し、地域医療を守る運動を全国へ広げていきましょう。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

11:00 開会

(主催者挨拶／実行委員会)

11:10 記念講演

「新・地域医療構想にみる医療保障の危機
～潜在化する医療ニーズと住み続ける権利を考える～」



なが とも まさてる
長友 薫輝氏 (佛教大学社会福祉学部教授)

プロフィール

1975年宮崎県生まれ。日本医療総合研究所副理事長、自治体問題研究所理事、総合社会福祉研究所理事、日本医療福祉政策学会幹事。

主な著書『全世代型社会保障改革とは何か』2025年、『コロナ禍で見た保健、医療、介護の今後』2022年など。

13:20 基調報告

13:50 特別報告

14:45 各地の取り組み交流

16:30 閉会挨拶

17:00 有志交流会

日時

2026年

11月23日 祝月

11:00～16:30 (閉会予定)

※希望者のみ 交流会あり (参加費：5,000 円)

ところ (オンライン併用)

平和と労働センター・
全労連会館 2 階ホール

参加費 (オンラインは無料)

現地参加・資料代 1,000 円

集会現地参加申込締切 11月13日(金)

集会オンライン参加申込締切 11月20日(金)

(オンライン参加は別途 Zoom 登録が必要です)

参加申込み



<https://x.gd/yMCGJ>

主 催 「第17回地域医療を守る運動全国交流集会」実行委員会

実行委員会団体 日本医療労働組合連合会／中央社会保障推進協議会／日本自治体労働組合総連合

事務局 日本医療労働組合連合会 TEL03-3875-5871 ホームページ<http://www.irouren.or.jp/> E-mail : n-iryomamoru@irouren.or.jp

各組織・団体 御中

2026 年 9 月 25 日
安保破棄中央実行委員会
中央社会保障推進協議会
国民大運動実行委員会

第 222 臨時国会における三者共催定例国会行動開催のお知らせ

連日のご奮闘に、心より敬意を申し上げます。

第 222 臨時国会は 10 月 5 日(月)に召集され、会期は 12 月 12 日(土)までの 69 日間とすることではば決定のようです。

第 1 回目の三者共催による定例国会行動は、10 月 7 日(水)に開催いたします。

なお、10 月 5 日(月)昼の開会日行動についてはこれまで通り、総がかり行動実行員会、全国市民アクションによる開会日行動に結集するものとします。

各組織、団体の皆さまのご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

記

《第 222 臨時国会.三者共催による第 1 回定例国会行動のお知らせ》

- 日時 : 10 月 7 日(水) 12 : 15～13 : 00
- 場所 : 衆議院第 2 議員会館前
- 第 2 回以降の日程 : 隔週水曜日を予定

10 月 21 日、11 月 4 日、11 月 18 日、12 月 2 日

計 5 回

以 上

第222臨時国会の三者共催定例会行動(案)

国民大運動実行委員会事務局

2026.09.28

<開催時間> 12:15～13:00 隔週 水曜日

<場 所> 衆議院第2会館前

○ 第222臨時国会

会期は、10月5日～12月12日の69日間

REV.2 09月28日現在

月 日	司会	主催者挨拶	行動提起	シュプレ
10月 7日	小林(全商連)	安保破壊	国民大運動	国公労連
10月21日	福本(新婦人)	国民大運動	中央社保協	民医連
11月 4日	吹上(全教)	農民連	国民大運動	全商連
11月18日	秋葉(自治労連)	中央社保協	安保破棄	新婦人
12月 2日	芦野(農民連)	新婦人	国民大運動	自治労連
月 日	宮澤(民医連)	全生連	中央社保協	農民連

※ 各担当については、調整により変更する場合があります。

※ 開会日行動は、総がかり行動に結集していきます。

以 上